

## 衛星仕様 (WorldView Legion)

打ち上げ年	2024年・2025年	バンド	Panchromatic: 450 - 800 nm
衛星軌道	太陽同期軌道および中傾斜軌道		Coastal Blue: 400 - 450 nm
衛星高度	518km		Blue: 450 - 510 nm
直下地上分解能 (GSD)	PAN: 34cm MSI: 1.36m (リサンプリング30cm)		Green: 510 - 580 nm
観測幅	10km		Yellow: 585 - 625 nm
各センサー 1画素あたりの情報量	14bit		Red: 630 - 690 nm
			Red Edge1: 695 - 715 nm
			Red Edge2: 730 - 750 nm
			Near-IR: 770 - 895 nm

## 製品仕様

種類	放射量補正	センサー補正	幾何補正	オルソ補正	概要
基本画像 (1B)	○	○			全てを調整可能な、未加工画像を必要とするプロフェッショナル向けの画像です。
標準画像 (2A)	○	○	○		粗いDEMに投影された、付加価値製品製造や解析での利用に適した画像です。
オルソレディ標準画像 (OR2A)	○	○	○		画像内の平均標高に投影された、付加価値製品製造やオルソ処理に適した画像です。
オルソ画像	○	○	○	○	GISや位置情報アプリケーションでの即時利用に適した画像です。

## 製品オプション

### ■ バンドオプション

	コスタルブルー	青	緑	黄	赤	レッドエッジ1	レッドエッジ2	近赤外1	近赤外2	短波長赤外	
3バンド トゥルーカラー*		○	○		○						通常のカラー写真のような画像になります。
4バンド		○	○	○	○			○			各種組み合わせによる画像解析に適しています。
8バンド**	WorldView-2 WorldView-3	○	○	○	○	○	○	○	○		高精細に色の識別が可能で、土地利用変化の検出、農作物の生育状況の把握等に用いることができます。
	WorldView Legion	○	○	○	○	○	○	○	○		
SWIR (8バンド)**	WorldView-3									○	煙を透過し、森林火災時の状況把握が可能です。また鉱物の検出等に用いることができます。

\*パンシャープのみ \*\*バンドのみ  
ファイル形式: GeoTIFF ビット数: 8bit/画素もしくは16bit/画素 座標系: UTM/WGS84 (標準)

### ■ HDオプション

アーカイブに対して、30cm解像度相当もしくは15cm解像度相当にHD (高精細) 処理を施します。



30cm解像度画像

©Vantor



15cmHD処理後画像

©Vantor



日本スペースイメージング株式会社

〒104-0031  
東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン 20階  
<https://www.jsicorp.jp/>



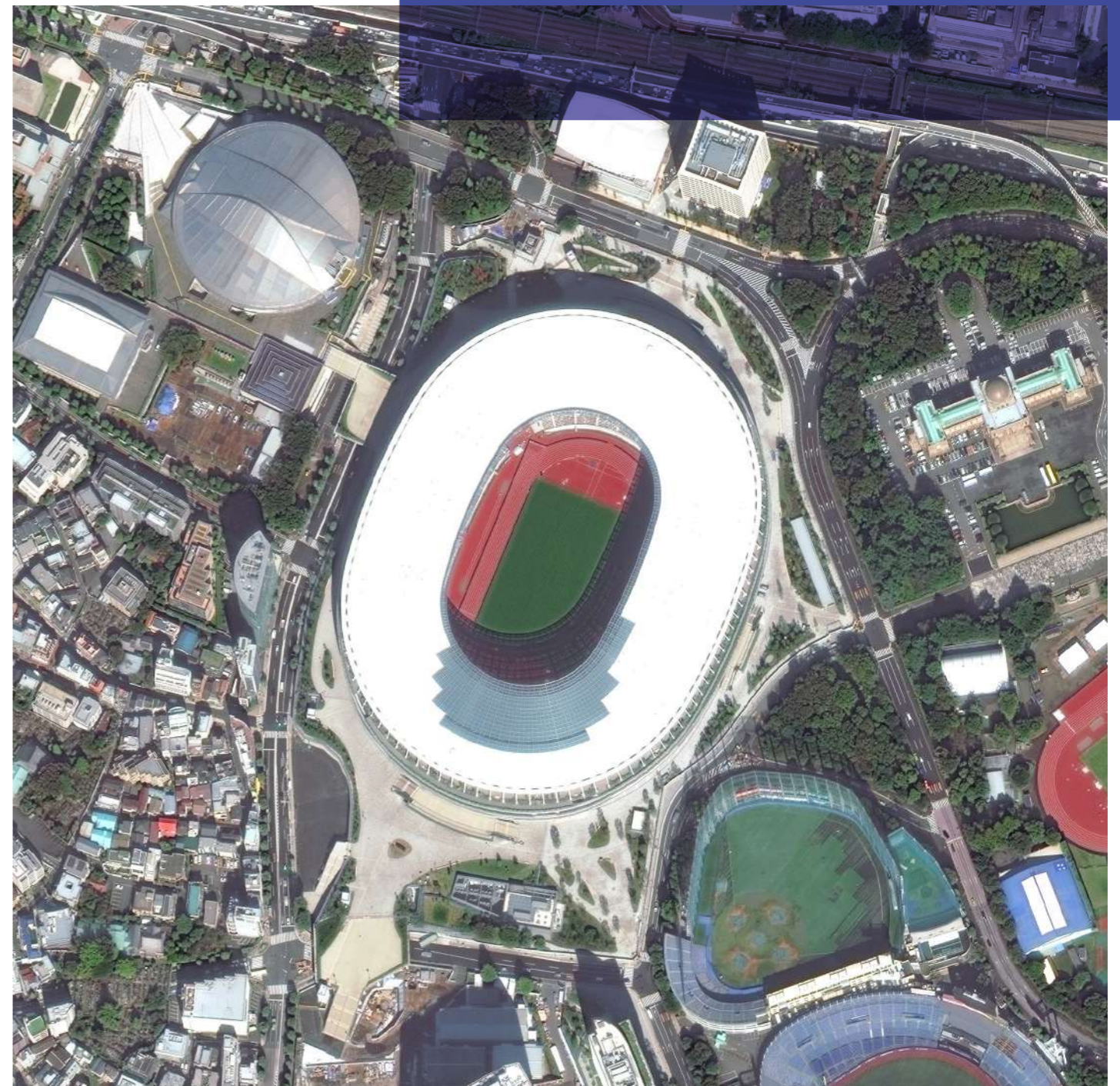
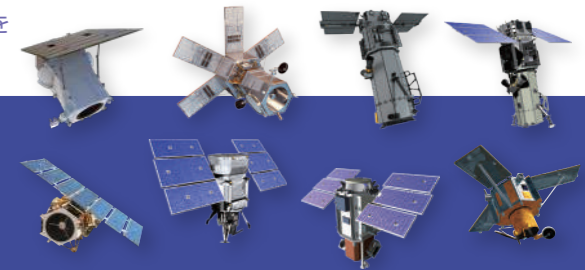
2026.04



# Vantor 衛星 (旧Maxar Technologies衛星)

WorldView Legion / WorldView-4 / WorldView-3 / WorldView-2 / GeoEye-1 / WorldView-1 / QuickBird / IKONOS

世界最高クラスの高解像度衛星による  
コンステレーションで、地上のあらゆるものを  
高頻度、高精細に撮影可能



新国立競技場

日本スペースイメージング株式会社

©Vantor  
Vantor, WorldView Legion, WorldView, and IKONOS are trademarks of Vantor Holdings Inc.

## Vantor衛星の概要

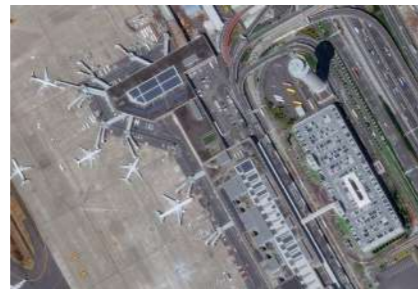
太陽同期軌道・中傾斜軌道で運用する  
 高分解能光学衛星コンステレーション  
 関心の高い地域において高再訪頻度を実現、  
 また様々な撮影時刻で30-50cm解像度データを提供

Vantor社は高解像度衛星運用会社のトップリーダーとして25年以上の会社です。  
 増え続けるニーズに応えるべく、2024年よりWorldView Legion6機を打ち上げ  
 30cm高解像度データの提供能力を拡大しました。

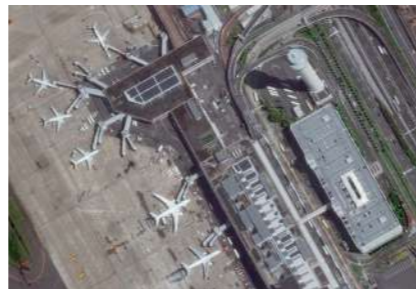
様々な撮影時刻の例(羽田空港)



2025年4月4日10:34撮影



2025年4月16日11:50撮影



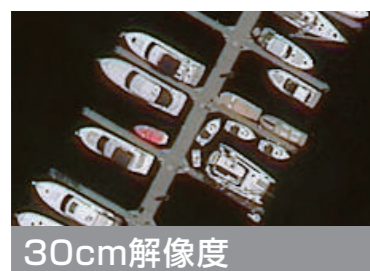
2025年6月3日8:48撮影

©Vantor

## Vantor衛星の特長

### point 1 世界最高クラス30cm\*1の高解像度

高解像度な衛星画像により、  
 船舶・車両から建物・インフラの配置に至るまで、  
 地物を詳細かつ網羅的に把握することが可能



30cm解像度



1m解像度



2m解像度

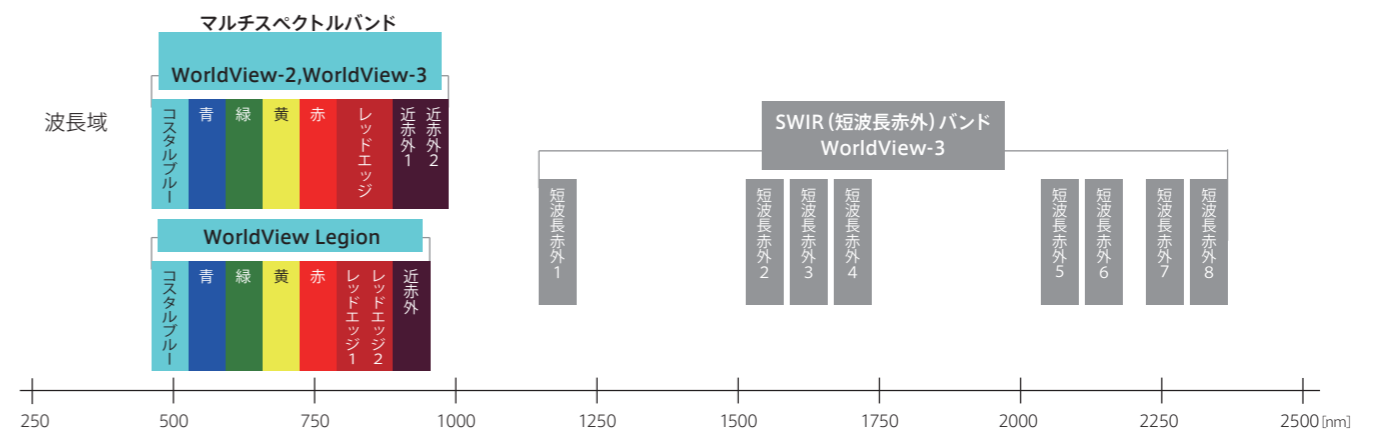
### point 2 コンステレーションによる 撮影時刻の多様性+高再訪性

WorldView Legion6機が加わったコンステレーションは  
 1日600万km<sup>2</sup>(うち30cm解像度は270万km<sup>2</sup>)に  
 撮影能力が拡大  
 太陽同期軌道に加え中傾斜軌道を含み、  
 再訪頻度が向上するだけでなくこれまでできなかった  
 早朝や夕方の撮影も可能に



### point 3 幅広い波長域

WorldView LegionおよびWorldView-2,3は、標準的な  
 4バンドマルチスペクトルセンサーより広域な8バンドマルチスペクトルセンサーを搭載  
 さらにWorldView-3は短波長赤外センサーを搭載し、より多彩な解析に利用可能



### point 4 膨大なアーカイブ画像

2000年のIKONOS衛星運用開始以来  
 地球を撮影し続け、125ペタバイト超の  
 膨大なアーカイブを整備  
 過去の地球の姿も  
 アーカイブより見る事が可能

